

教育研究業績書

2024年10月22日

所属： 日本語日本文学科 資格： 教授 氏名： 郡 千寿子

研究分野		研究内容のキーワード		
言語学、日本語学		日本語史、語彙、表記、言語文化		
学位		最終学歴		
博士（文学）、文学修士		武庫川女子大学大学院 修士課程		

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. グループワークによる問題発見・プレゼンテーションを重視した授業。 「基礎ゼミ」 「日本語学演習」	2001年4月～	少人数グループで調査と考察検討の後、発表、質疑応答を行う授業。学生相互で切磋琢磨するよう工夫し、最終レポートは自己評価と他者評価を記述させ、学生による評価も授業成績に反映させた。
2. 授業アンケートを活用し、改善を図る取り組みをした授業。（全授業）	1999年4月～	授業内容や展開、難易度等について学生の意見をきくコメントシートを授業後に毎回実施した。授業能力向上のために学生からの意見を取り入れ、次回授業あるいは次年度の教育改善に役立てた。
3. 視聴覚教材を活用し、理解を深める取り組みをした授業。 「日本語学」 「言語学の基礎」 「歴史・認知言語学入門」	1999年4月～	関連のビデオ視聴、スライドやプリントを作成し授業内容の理解を深める工夫をした。
2 作成した教科書、教材		
1. 『日本語』（延辺大学出版会）延辺大学日本学科編「第11課 日本語のおはなし」担当執筆。	2023年	中国・延辺大学外国語学院日本学科編 教科書『日本語』作成に協力し、第11課「日本語のおはなし」を執筆した。日本の文字史を概説した箇所である。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 「大学質保証フォーラム」（大学改革支援・学位授与機構主催）でシンポジストに招聘された。	2017年8月	
2. 弘前大学学長教育授業改善特別経費授与者に推薦された。	2002年12月	

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 博士（文学）	2001年11月	学位論文「日本語語誌の研究」
2. 文学修士	1990年03月	修士論文「『神道私抄』の研究—中世国語の一資料—」
3. 中学校教諭一級免許（国語）	1989年03月	
4. 高等学校教諭一級免許（国語）	1989年03月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 弘前大学 理事（教育）・副学長	2020年04月～2024年03月	
2. 弘前大学附属図書館長	2017年04月～2020年03月	
3. 弘前大学 経営評議会委員	2016年02月～2024年03月	
4. 弘前大学 理事（研究）・副学長	2016年02月～2020年03月	
5. 弘前大学附属図書館長	2014年04月～2016年01月	
6. 弘前大学 教育研究評議会委員	2012年02月～2024年03月	
7. 弘前大学出版会編集長	2012年02月～2014年03月	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. コオリ先生のことば 探求紀行	共	2024年03月	弘前大学出版会 184頁	著者：郡千寿子、多田恵実、パーマン シャーリー ジョイ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2. 青森の文学世界 〈北の文脈〉を読み直す	共	2019年09月	弘前大学出版会 418頁（分担）250～288頁 408～413頁	編者：郡千寿子、仁平政人 著者：郡千寿子、仁平政人 他8名
3. 弘前大学七十年史	共	2019年06月	弘前大学出版会	編者：弘前大学七十年史編纂専門委員会 委員長 郡千寿子
4. 寺山修司という疑問符	共	2014年10月	弘前大学出版会 426頁（分担）93～126頁 283～285頁	編者：郡千寿子、仁平政人 著者：郡千寿子、仁平政人 他6名
5. 日本語大辞典 上下巻	共	2014年06月	朝倉書店	編者：佐藤武義、前田富祺、小林隆他8名（熟語・親族語彙・語感・訛語4項目担当）
6. 弘前大学で見つけた一〇七の言の葉ノート	共	2014年06月	弘前大学出版会 231頁（分担）1～3頁 212～213頁	編者：弘前大学出版会 著者：郡千寿子 他106名
7. 太宰へのまなざしー文学・語学・教育ー	共	2013年03月	弘前大学出版会 281頁（分担）127～182頁	編者：弘前大学教育学部国語講座 著者：郡千寿子、仁平政人 他4名
8. 弘前大学 知の散歩道	共	2012年01月	弘前大学出版会 319頁（分担）81～91頁	編者：弘前大学出版会 著者：郡千寿子 他50名
9. 日本語 文章・文体・表現事典	共	2011年06月	朝倉書店	編者：中村明（阪倉篤義『日本語表現の流れ』文献解題（担当））
10. 日本語辞書研究 第4輯	共	2006年10月	港の人出版 286頁（分担）120～135頁	編者：近思文庫 著者：郡千寿子、萩原義雄 他12名
11. 国語語彙史の研究 二十五	共	2006年03月	和泉書院 247頁（分担）125～140頁	編者：国語語彙史研究会 著者：山口佳紀、郡千寿子 他11名
12. 表現と文体	共	2005年03月	明治書院 530頁（分担）213～220頁	編者：中村明、野村雅昭、佐久間まゆみ、小宮千鶴子 著者：中村明、郡千寿子 他43名
13. 日本語辞書研究 第3輯下	共	2005年03月	港の人出版 505頁（分担）443～455頁	編者：近思文庫 著者：萩原義雄、郡千寿子 他12名
14. 日本語辞書研究 第2輯	共	2003年11月	港の人出版 460頁（分担）101～112頁	編者：近思文庫 著者：西崎亨、郡千寿子 他8名
15. 国語語彙史の研究 二十	共	2001年03月	和泉書院 426頁（分担）201～213頁	編者：国語語彙史研究会 著者：柳田征司、郡千寿子 他25名
16. 国語文字史の研究 五	共	2000年05月	和泉書院 298頁（分担）107～125頁	編者：前田富祺 著者：伊藤雅光、郡千寿子 他13名
17. 日本国語大辞典(第二版)1～13巻	共	2000年～2002年	小学館	編者：北原保雄、徳川宗賢、前田富祺 他4名 語誌編集部会および語誌欄項目執筆（一端・荒涼・出藍・菓子麵・おにぎり等約80項目担当）
18. 国語文字史の研究 四	共	1998年08月	和泉書院 382頁（分担）81～98頁	編者：前田富祺 著者：前田富祺、郡千寿子 他9名
19. 国語語彙史の研究 十六	共	1996年11月	和泉書院 328頁（分担）223～236頁	編者：国語語彙史研究会 著者：前田富祺、郡千寿子 他17名
20. とはずがたりの諸問題	共	1996年05月	和泉書院 237頁（分担）137～152頁	編者：島津忠夫、上條彰次、廣田哲通 著者：島津忠夫、郡千寿子 他13名
21. 真字本方丈記 影印・注釈・研究	共	1994年10月	和泉書院 266頁	監修：島津忠夫 著者：加賀元子、郡千寿子 共同研究につき担当部分抽出不可能
2 学位論文				

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
1. 日本語語誌の研究	単	2009年06月	学位論文（博士） 武庫川女子大学大学院 414頁 (600字詰)	
3 学術論文				
1. 山形県立図書館所蔵の往来物資料について	単	2024年03月	弘前大学教育学部紀要 第131号 弘前大学教育学部1～6頁	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
2. 萩市立図書館所蔵の往来物資料について	単	2023年10月	弘前大学教育学部紀要 第130号弘前大学教育学部1～7頁	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
3. 山口県立図書館所蔵の往来物資料－目的別と出版地域別の観点から－	単	2023年03月	弘前大学教育学部紀要 第129号 弘前大学教育学部1～8頁	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
4. 日本語の異分野連携研究の可能性－往来物資料を一例に－	単	2022年10月	日本語文化研究第5輯 延辺大学出版会	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
5. 島根県立図書館所蔵の貝原益軒著作資料について	単	2022年10月	弘前大学教育学部紀要 第128号 弘前大学教育学部1～6頁	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
6. 米子市立図書館所蔵の往来物資料について－目的別と出版地域別の観点から－	単	2022年03月	弘前大学教育学部紀要 第127号 弘前大学教育学部1～6頁	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
7. 鳥取県立図書館所蔵の往来物資料－目的別と出版地域別の観点から－	単	2021年10月	弘前大学教育学部紀要 第126号 弘前大学教育学部1～7頁	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
8. 島根県立図書館所蔵の往来物資料について－目的別と出版地域別の分類整理－	単	2021年03月	弘前大学教育学部紀要 第125号 弘前大学教育学部1～6頁	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
9. 『京の水』の資料生－江戸時代後期の監事表記と振り仮名－	単	2020年10月	弘前大学教育学部紀要 第124号 弘前大学教育学部1～8頁	2019～2022年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
10. 石川県立図書館“川口文庫”所蔵の往来物資料	単	2020年03月	弘前大学教育学部紀要 第123号 弘前大学教育学部1～8頁	2015～2018年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
11. 石川県立図書館所蔵の往来物について－特殊文庫における調査から－	単	2019年10月	弘前大学教育学部紀要 第122号 弘前大学教育学部1～7頁	2015～2018年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
12. 新潟県立図書館所蔵の往来物資料－出版地域別の観点から－	単	2019年03月	弘前大学教育学部紀要 第121号 弘前大学教育学部1～6頁	2015～2018年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
13. 漢字表記「名所」をめぐる「メイショ」と「ナドコロ」の関係性－	単	2017年03月	弘前大学国語国文学 第38号弘前大学国語国文学会26～40 頁	2015～2018年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
14. 味覚表現「おいしい」と「うまい」－広告用語からの検討	単	2017年03月	弘前大学教育学部紀要 第116号 弘前大学教育学部	2015～2018年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
—			1～7頁	
15.「おいしい」の一般語化について	単	2016年06月	日本語文化研究第4輯延辺大学出版会29～38頁	2015～2018年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
16.高岡市立中央図書館所蔵の往来物資料について	単	2016年03月	弘前大学教育学部紀要 第115号 弘前大学教育学部1～8頁	2015～2018年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
17.富山公文書館所蔵の往来物資料について	単	2015年10月	弘前大学教育学部紀要 第114号 弘前大学教育学部1～7頁	2015～2018年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
18.学生の主体的な学修を促進する ラーニングcommonsの環境整備と 実践例	単	2015年03月	21世紀フォーラム第10号弘前大学21世紀教育センター1～9頁	
19.外来語の受容の背景－BEERをめぐる－	単	2014年06月	日本語文化研究第3輯 上延辺大学出版会 172～179頁	
20.往来物に見る教育観－近世庶民生活におけることばの修得－	単	2014年04月	文学・語学209号全国大学国語国文学会 53～65頁	
21.秋田県立図書館所蔵往来物の出版地域に関する一考察－弘前・酒田・山形との比較検討－	単	2014年03月	弘前大学教育学部紀要 第111号 弘前大学教育学部1～6頁	2011～2013年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
22.『南都名所記』についての一考察－山形県立博物館教育資料館所蔵本の資料性－	単	2013年10月	弘前大学教育学部紀要 第110号 弘前大学教育学部1～8頁	2011～2013年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
23.山形における江戸時代の書籍流通について－往来物資料の出版地域からの検討－	単	2013年03月	弘前大学国語国文学 第109号弘前大学国語国文学会1～6 頁	2011～2013年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
24.山形県立博物館教育資料館所蔵の往来物資料－目的別分類からの考察－	単	2012年10月	弘前大学教育学部紀要 第108号 弘前大学教育学部1～7頁	2011～2013年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
25.近世日本語の一面－往来物資料からの分析－	単	2012年05月	日本語文化研究第2輯上延辺大学出版会187～193頁	2011～2013年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
26.酒田市立光文庫所蔵の往来物資料－目的と出版地からの分類分析－	単	2012年03月	弘前大学教育学部紀要 第107号 弘前大学教育学部1～6 頁	2011～2013年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
27.国語資料としての『都花月名所』－江戸時代後期における漢字表記と振り仮名－	単	2011年10月	弘前大学教育学部紀要 第106号 弘前大学教育学部1～7 頁	2011～2013年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
28.近世期における「御所ことば」の記載について－東京大学総合図書館蔵「往来物分類集成」からの報告－	単	2010年10月	弘前大学教育学部紀要 第104号 弘前大学教育学部1～8 頁	2007～2009年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
29.秋田県立図書館蔵の	単	2010年03月	弘前大学教育学部	2007～2009年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
往来物資料について			紀要 第103号 弘前大学教育学部 1～8 頁	基づく研究代表者：郡千寿子
30. 八戸市立図書館蔵 遠山家旧蔵の『往来物』について	単	2009年10月	弘前大学教育学部 紀要 第102号 弘前大学教育学部 1～8 頁	2007～2009年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
31. 往来物の「女ことば」について	単	2008年11月	関西文化研究叢書 第10巻武庫川 女子大学関西文化 研究センター 161～176頁	2007～2009年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
32. 岩手県立図書館所蔵の『往来物』について	単	2008年10月	弘前大学教育学部 紀要 第100号 弘前大学教育学部 1～6頁	2007～2009年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
33. 東北大学附属図書館 狩野文庫蔵 『絵本』天の川について	単	2008年07月	往来物の研究 第 4輯武庫川女子大学 関西文化研究セン ター 1～23頁	2007～2009年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
34. 『往来物』にみる「七夕」	単	2008年03月	関西文化研究 第 13号武庫川女子大 学関西文化研究セ ンター 54～67頁	2007～2009年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく研究代表者：郡千寿子
35. 文化審議会の答申と敬語教育	単	2007年03月	弘前大学教育学部 紀要第99号弘前大 学教育学部 1～ 7頁	
36. 弘前市立図書館蔵『都名所花月』考－近世期の京都観－	単	2007年03月	往来物の研究 第 3輯武庫川女子大学 関西文化研究セン ター 1～28頁	2004～2008年度 文部科学省COE研究による研究成果に基づく研究拠点：武庫川女子大学研究代表者：西島孜哉
37. PISA型読解力についての一考察	単	2006年03月	21世紀フォーラム 第2号弘前大学21世 紀教育センター 29～35頁	
38. 弘前市立図書館所蔵の『往来物』について－関西文化との関係から－	共	2005年05月	往来物の研究 第 1輯武庫川女子大学 関西文化研究セン ター 3～20頁	2004～2008年度 文部科学省COE研究による研究成果に基づく研究拠点：武庫川女子大学研究代表者：西島孜哉
39. Validation of the Japanese Society for Surgery of the Hand version of the Disability of the Arm, Shoulder, and Hand questionnaire	単	2005年03月	Journal of Orthopaedic Science The Japanese Orthopaedic Association 10, 353-359	著者：Toshihiko IMADA, Satoshi TOH, Yasushi NAKAO, Jun NISHIDA, Hitoshi HIRATA, Masateru I JICHI, Chizuko KOHRI, Akira NAGANO 共同研究につき担当部分抽出不可能
40. 語彙史研究を利用した古文教育－『伊勢物語』初段「なまめいた女」考－	単	2005年03月	弘前大学教育学部 紀要第93号弘前大 学教育学部 1～ 6頁	
41. 一人称代名詞の使用実態と使用意識について－弘前の成人男女の場合－	単	2003年10月	弘前大学教育学部 紀要第90号弘前大 学教育学部 1～ 8頁	
42. 一人称代名詞の使用実態と使用意識につ	共	2003年03月	弘前大学教育学部 紀要第89号弘前大	著者：郡千寿子、成田久美子 共同研究につき担当部分抽出不可能

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
いて－弘前の小学生の場合－ 43.「旦那」の履歴－表記と意味と待遇と－	単	2002年11月	学教育学部 1～8頁 武庫川国文 第60号武庫川女子大学国文学会 245～261頁	1995～1996年度 科学研究費補助金（基盤研究C）による研究成果に基づく 研究代表者：佐竹秀雄 著者：佐竹秀雄、西崎亨、岸本千秋、高橋博美、郡千寿子、福井淳子
44.「畳」の語誌－住生活と言語文化－	単	2000年03月	弘前大学国語国文学 第22号弘前大学国語国文学会 1～16頁	
45.大正期の「女らしさ」－雑誌『女性』を資料として－	共	1997年03月	「女らしさ」の意味・用法・イメージの記述的研究（科学研究費補助金研究成果報告書） 47～54頁	
46.陽明文庫蔵『長恨歌聞書』の－資料性－動詞連用形の音便現象を中心に－	単	1995年03月	武庫川国文 第45号武庫川女子大学国文学会 160～169頁	
47.中世末期における動詞連用形の音便現象について－身延文庫蔵『神道私抄』の場合－	単	1995年03月	武庫川女子大学紀要（人文・社会科学）第42巻武庫川女子大学 1～8頁	
48.『神道私抄』の講義姿勢について－『日本書紀抄』との比較から－	単	1993年03月	武庫川国文 第41号武庫川女子大学国文学会 127～135頁	
49.日本書紀抄受容の一面	単	1992年11月	武庫川国文 第40号武庫川女子大学国文学会137～144頁	
50.『神道私抄』の成立－諸本の検討－	単	1990年12月	武庫川国文 第36号武庫川女子大学国文学会 9～18頁	
51.『神道私抄』の研究－中世国語の一資料－	単	1990年03月	学位論文（修士）武庫川女子大学大学院 231枚（600字詰）	
52.日蓮僧日重の学問的背景－抄物研究との関わりにおいて－	単	1989年11月	武庫川国文 第34号武庫川女子大学国文学会 74～82頁	
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1.超人口減少地域 弘前大学の事例から	単	2023年11月	台日私立高等教育対話 国際シンポジウム（国際学会）	招待講演
2.BorderLess -The Future of University Social Responsibility	単	2023年11月	International University Predential Forum（国際学会）	招待講演（英語）
3.言語学の基礎 日本語について考えよう	単	2023年11月	台湾 屏東大学国際特別公演	招待講演

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
4. 日本語教育と日本研究の展望－SDGsの目標とダイバーシティを意識して－	単	2023年05月	中国文化大学日本語文学科創立60周年記念国際学術シンポジウム（台湾・中国文化大学）	招待講演（基調講演）
5. 太宰治と弘前大学－高校と大学の連携教育－	単	2022年05月	中国文化大学日本語文学科国際シンポジウム（台湾・中国文化大学）	招待発表（オンライン）
6. ことばで日本再発見－地域性の観点から－	単	2022年02月	台湾協定校特別プログラム講演（台湾 国立屏東大学・国立高雄大学・開南大学・中国文化大学）	オンライン
7. 言語学の基礎知識	単	2020年08月	開南大学 特別講義（台湾・開南大学）	オンライン
8. 日本語の異分野連携研究の可能性－往来物資料を一例に－	単	2019年08月	第6回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム（中国・延辺大学）	招待講演（基調講演）
9. 観光地イメージ形成の背景－名所案内記からの検討－	単	2019年06月	東アジア日本研究者協議会 第4回国際学術大会（台湾・中国文化大学）	
10. 日本における外来語受容の背景	単	2019年03月	台湾大学日本学センター 特別講演（台湾・台湾大学）	招待講演
11. 日本語研究の展望－往来物と日本語研究－	単	2018年05月	中国文化大学日本語学科 特別講演（台湾・中国文化大学）	招待講演
12. 江戸時代の往来物資料と現代日本語研究	単	2018年03月	台湾大学日本学センター 特別講演（台湾・台湾大学）	招待講演
13. 教員と職員 弘前大学の取り組み	単	2017年08月	大学質保証フォーラム（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）	招待講演
14. 味覚表現の「おいしい」と「うまい」	単	2017年03月	東亜大学 特別講演（韓国・東亜大学）	招待講演
15. 形容詞「おいしい」の一般語化について－往来物資料からの検討－	単	2015年08月	第4回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム（中国・延辺大学）	
16. 寺山修司の可能性をめぐって	単	2014年11月	弘前大学国語国文学会（弘前大学）	
17. 外来語受容の背景－BEERをめぐって－	単	2013年08月	第3回中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム（中国・延辺大学）	
18. 近世期の日本語－往	単	2011年11月	第2回中日韓朝言語	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
来物資料からの分析－			文化比較研究国際シンポジウム（中国・延辺大学）	
19. 往来物にみる「女ことば」	単	2008年02月	関西文化研究センター セミナー（武庫川女子大学）	
20. 往来物にみる「七夕」の三都物語－京都・大阪・江戸－	共	2007年12月	関西文化研究センター フォーラム（武庫川女子大学）	共同研究者：萩原義雄、郡千寿子
21. 関西における往来物・節用集の出版と生活コミュニケーションに関する研究	共	2007年03月	関西文化研究センター ワークショップ（武庫川女子大学）	2006年度文部科学省COE研究の研究成果報告 共同研究者：西崎亨、乾善彦、萩原義雄、郡千寿子
22. 往来物からみた「関西」－『都花月名所』考－	単	2006年07月	関西文化研究センター セミナー（武庫川女子大学）	2005年度文部科学省COE研究の研究成果報告
23. 弘前市立図書館所蔵の『往来物』について	単	2005年03月	関西文化研究センター ワークショップ（武庫川女子大学）	2004年度文部科学省COE研究の研究成果報告
24. L' insularité d' une langue-le cas du japonais	単	2004年08月	Colloque International France-Allemagne-Japon (France Chartres)	
25. 旦那の履歴－表記と意味と待遇と－	単	2002年12月	異文化研究会（大阪学院大学）	
26. 大学生の結婚観について－関西と東北の相違から－	単	2000年04月	弘前学術国際シンポジウム（弘前大学）	
27. 「畳」の語誌－住生活と言語文化－	単	1999年07月	弘前大学国文学会（弘前大学）	
28. 「栖」から「住家」へ－表記変化とその背景－	単	1994年11月	武庫川女子大学国文学会（武庫川女子大学）	
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 新聞文化欄コラム連載「コオリ先生のことば探求紀行」（24回）	単	2022年08月	東奥日報社（青森）	
2. 島津忠夫著作集 第13巻 月報 「国文学と国語学」	単	2007年09月	和泉書院	
3. 新聞文化欄コラム連載 「ことばの不思議」（25回）	単	2005年03月～09月（25回）	時事通信社（東京）	「神戸新聞」「信濃毎日」「河北新報」「新潟日報」「陸奥新報」等50社の地方新聞に配信され掲載
4. The DASH Questionnaire Disabilities of the Arm, Shoulder and Hand	共	2004年11月	日本手の外科学会機能評価委員会	アメリカ整形外科学会の認可を受けた日本語版DASH（上肢障害評価表）診療評価基準として広く使用される共同研究につき、担当部分抽出不可能。
5. 言語文化のキーワード「畳」	単	1996年09月	国文学 第41巻11号 學燈社 131～133頁	
6. 言語文化のキーワー	単	1996年09月	国文学 第41巻11	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
ド「着物」			号 學燈社 128～130頁	
6. 研究費の取得状況				
1. 往来物出版を基軸とした言語文化史と地域性に関する研究	単	2019年～2023	科学研究費補助金 (C)	研究代表。日本海沿岸の山陰地域を重点的に往来物所在調査を実施し、東北と北陸、山陰地域における言語文化と地域性の相関性について研究した。
2. 北陸日本海域における往来物を活用した日本語史の解明	単	2015年～2018	科学研究費補助金 (C)	研究代表。近世期の北前船の寄港地域について、どのように影響を及ぼし合っていたのかを考察検討した。往来物の所在調査を通して日本語史の変化過程も踏まえて地域性を究明した。
3. 東北日本海域における近世言語生活に関する研究	単	2011年～2013	科学研究費補助金 (C)	研究代表。北東北における往来物資料の所在調査を基盤として、東北の日本海沿岸地域に焦点を絞って、言語生活の実態や教育環境について検討した。
4. 北東北における近世庶民生活に関する研究	単	2007年～2009	科学研究費補助金 (C)	研究代表。日本語史資料として注目されてこなかった往来物資料の資料性について検討した。青森・岩手・秋田に所在する往来物資料を調査し、目的別や出版地域別に分類する等、研究基盤を整えた
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			
1. 2023年06月～2024年03月	青森テレビ放送番組審議会 委員			
2. 2023年05月～現在	青森県高等学校魅力づくり検討会議 議長			
3. 2021年06月～現在	全国大学国語国文学会 監事			
4. 2019年04月～2024年03月	弘前れんが倉庫美術館運営審議会 副委員長			
5. 2019年04月～2024年03月	弘前市立図書館協議会 会長			
6. 2018年04月～2019年03月	あおもりPG産業振興推進委員会 委員			
7. 2016年04月～2020年03月	青森県ライフイノベーション戦略アドバイザーボード 委員			
8. 2016年04月～2020年03月	21あおもり産業総合支援センター評議員			
9. 2015年05月～現在	青森県NIE推進協議会 会長			
10. 2014年4月～2021年06月	全国大学国語国文学会 役員（常任委員・代表委員）			
11. 2003年10月～2024年03月	青森県高等学校総合文化祭 弁論部門 審査委員長			